

日本スポーツマスターズ2019ぎふ清流大会

テクニカルガイド

Ver. 20190919

【共通事項】

○ 駐車場

駐車場は、大垣競輪場の東側に隣接する大駐車場の内、マスターズ用に区画された部分に駐車する。区画は十分な広さが確保してあるため、駐車場証は発行しない。役員駐車場は別に確保し、駐車場への入場には駐車場証を提示すること。



<開門時間> 9月20日(金) 12:00~18:30
21日(土) 6:00~18:30
22日(日) 6:00~大会終了後仮設の撤去作業を行う。

○ 選手待機所

駐車場より、歩道橋を渡ったところにあるバック側スタンドを選手待機所とする。機材は、スタンド裏に置くことができる。韓国選手団と開催県のみ区画を設定する。その他の空いている部分を譲り合って利用する。

自転車等の機材は、1階の検車場を利用してもよい。2階の選手入り口から1階に自転車をおろす経路は狭いため、道路沿いバック側の緑の鉄扉から搬入してもよい。その際、道路に車を止めることは許可しない。

選手待機所、駐車場共に、法令により火気の使用は禁止されている。

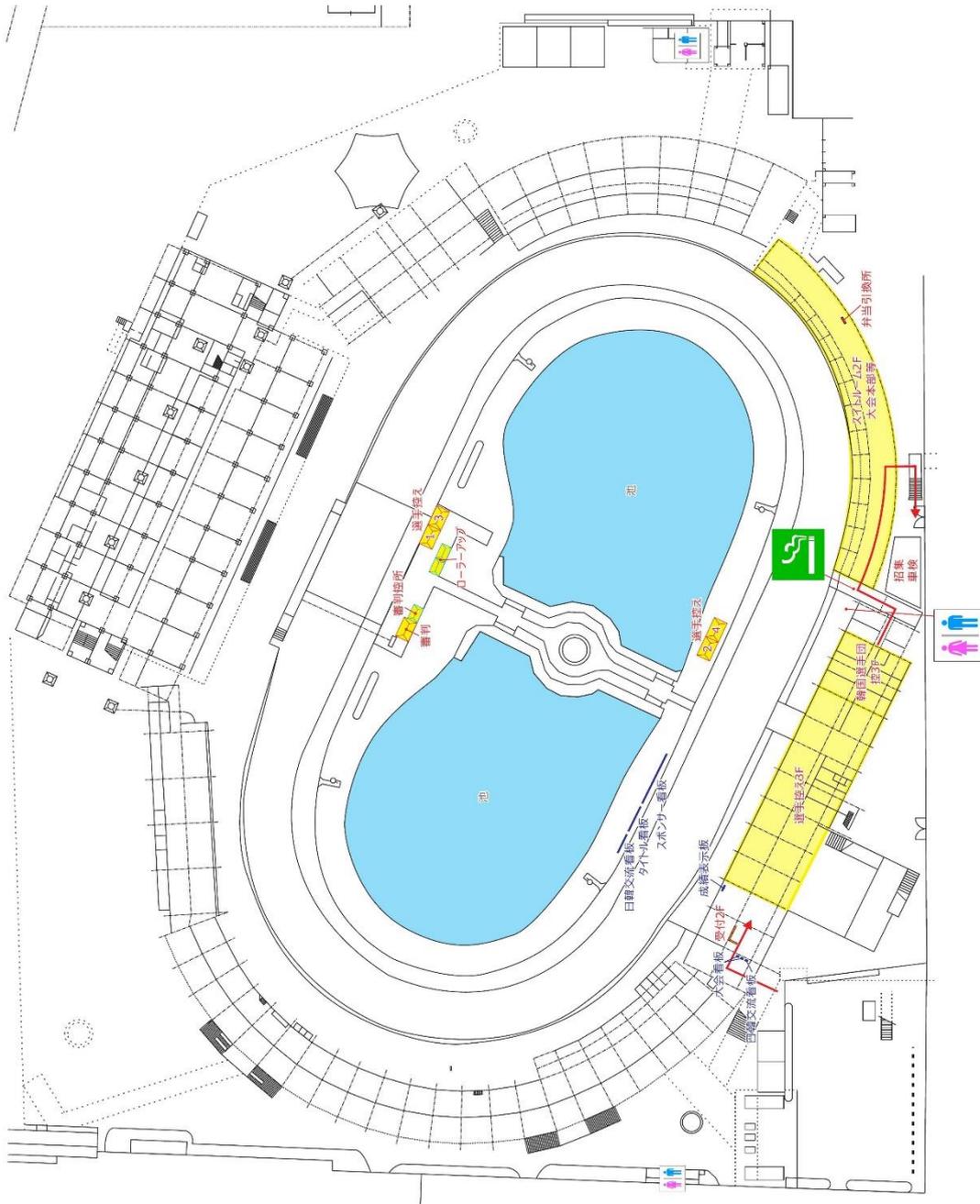
選手待機所下の旧券売所付近は、アップ用のローラー等を設置することができる。自転車の走行は禁止する。ローラー台等機材の設置にあたっては譲り合って利用すること。

貴重品の管理は各自の責任で行うこと。盗難等が発生しても主催者は一切その責任を負わない。

○ 走路への入退場

入退場とも、バックストレッチ側の敢闘門を使用する。退場は、敢闘門から走路に向かって左側のレーンで行い、入場は走路に向かって右側のレーンを使用する。係員の指示に従って入退場すること。

入場時には、ライセンスコントロール時に発行したIDカードまたはゼッケンを装着し、提示すること。



○ フィールド内

フィールド内、ホーム側のイラスト部分は立ち入り禁止とする。レーザーシューズで歩くことも、乗車した自転車で絵の上を横切ることもできない。

○ 救護

競技場内での試合及、練習中の傷病については、日体協の救護マニュアルに従って対応する。
20日の公式トレーニングには看護師、21日、22日は、医師、看護師を配置する。

○ ゴミの処理について

会場にはゴミ箱は設置しない、大会中に生じたゴミは各自で持ち帰ること。
幹旋弁当の空容器等は業者が回収するので、時間までに所定の場所へ持参すること。

○ 機材の管理・運搬について

荷物を送る場合は事前に宿舎と調整すること。競技会場での荷物の受け取りはおこなわない。会期中は、検車場を一時保管場所として開放するが、管理については各自の責任において行うこと。
機材の破損、盗難については主催者側で責任は負えない。

○ ライセンスコントロール

1. 9月20日(金) 15:00~17:00
2. 21日(土) 7:30~8:00

○ 公式トレーニング時間

9月20日(金) 14:00~16:00

10:00~ 韓国選手団

12:00~ 電気計時等設営

14:00~ 愛知 岐阜 三重 滋賀 51名

14:30~ 長野 富山 石川 福井 静岡 京都 大阪 48名

15:00~ 茨木 埼玉 千葉 東京 神奈川 兵庫 奈良 島根 岡山 48名

15:30~ 北海道 青森 岩手 宮城 秋田 福島 広島 山口 香川 徳島 愛媛 福岡 長崎 大分 50名

9月21日(土) 7:30~8:30

7:30~ 北海道 青森 岩手 宮城 秋田 福島 茨木 埼玉 千葉 東京 神奈川 長野 富山 石川 福井 静岡 68名

7:45~ 愛知 三重 岐阜 大阪 兵庫 奈良 65名

8:00~ 滋賀 京都 島根 岡山 広島 山口 香川 徳島 愛媛 福岡 長崎 大分 64名

8:15~ 韓国選手団

9月22日(日) 7:00~7:45

7:00~ 北海道 青森 岩手 宮城 秋田 福島 茨木 埼玉 千葉 東京 神奈川 長野 富山 石川 福井 静岡 68名

7:15~ 愛知 三重 岐阜 大阪 兵庫 奈良 65名

7:30~ 滋賀 京都 島根 岡山 広島 山口 香川 徳島 愛媛 福岡 長崎 大分 64名

7:45~ 韓国選手団

練習の入退場は、バック側より行う。入退場の時間を5分設ける。

※役員の指示に従って速やかに移動し、走路を横断する際はアップシューズとし、指示が有るまで乗車を禁止する。

練習中の事故については、レース中と同じ扱いとし、機材の破損については自己責任とする。

【競技関連事項】

○ ヘルメット

JCF公認及びJKA認定（競輪用）の物に限る。JCF公認は、ヘルメットに貼付されたステッカーにより公認であることが確認できること。

エアロヘルメット（JCF公認条件で「タイム・トライアル系の競技においてのみ使用できる物」注釈が付いている製品）の使用は次の種目に限って認める。

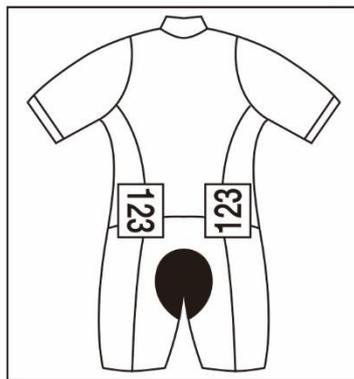
男女スプリント予選、男女タイム・トライアル、男女個人パーシュート、男子チーム・スプリント。練習時の着用は認めない。

○ シューズカバー

2019年競技規則変更を受けて、着用について制限をしない。

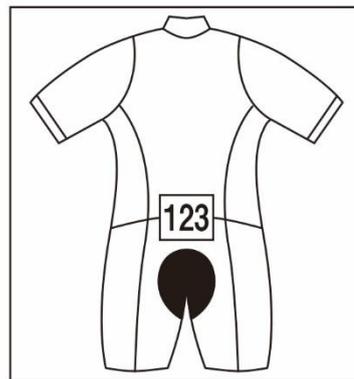
○ ボディナンバー（ゼッケン）

競走系種目
両腰に向かい合わせ**2枚**
間隔は5cm以上



男女スプリント（予選含）
男子ケイリン
男子ポイント・レース

タイム系種目
腰中央に**1枚**



男女タイム・トライアル
男女個人パーシュート
男子チーム・スプリント

○ 共通事項

競走種目において、ホルダーは原則各チームで用意すること。出来ない場合は、スタート前に申告すること。その場合競技役員が代わってホルダーを行う。

計時種目は、ホーム・バックからの2名同時スタートで行う。スタートリストのHB表記はそれぞれフィニッシュ位置を示す。ただし、500mTTのHB表記はスタート位置を示す。

- 男女スプリント予選

ホームよりホイッスルの合図でスタートし、2周回の内最後の200mを計測する。

各種別タイム上位4名が1／2決勝へ勝ち上がり、1部を除き5位から8位は5－8位決定戦へ進む。1部の5位は予選タイムで決定する。（上位レースの結果による繰り上げは行わない。）

タイム計測には電気計時を使用する。同タイムの場合は最終100mラップで順位を決定する。
- 男女スプリント

1・2位決定戦のみ2、3回戦制で行う。

発走順の抽選は、スタート前にスターターが行う。
- 男女タイム・トライアル

距離は男子1・2・3部1Km、男子4・5・6部と女子が500mで行う。

計測はカウントダウンタイマーを用いた電気計時を使用する。

フライング等、再スタートが認められる場合は、速やかに発走台に戻れる場合を除き、可能な限り当該種別の最終組に繰下げて行う。
- 男女個人パーシュート

距離は男子1・2・3部3Km、男子4・5・6部と女子が2Kmで行う。

計測はカウントダウンタイマーを用いた電気計時を使用する。

発走は自転車スタートマシンにセットされた状態から、50秒のカウントダウンで行う。

フライング等、再スタートが認められる場合は、速やかに発走台に戻れる場合を除き、可能な限り当該種別の最終組に繰下げて行う。
- 男子ケイリン

1部以外は予選を行う。

予選を2組で行う2部のみ上位3名が決勝へ、予選を3組で行う3・4・5・6部は上位2名が決勝へ勝ち上がる。

順位決定戦は行わない。

発走順の抽選は、スタート前にスターターが行う。

スタート後、少なくとも1周回は、前から発走順にペーサを追走しなくてはならない。

競走距離は1600m（4周）＋センター・ラインからホーム・ラインで、ペーサの離脱は2周回を完了したホーム・センターラインである。

ペーサが離脱するまでの間にその前輪前端を追い抜いてはならない。

再発走の場合は、種別に関わらず繰下げて行う。

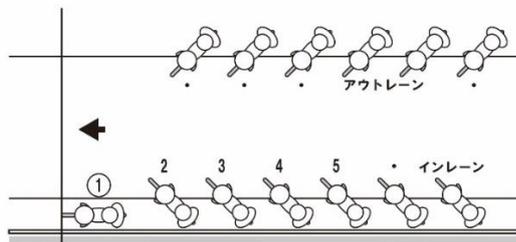
○ 男子ポイント・レース

距離は1・2部が16Km(40周)、3・4部が10Km(25周)、5・6部は6Km(15周)で行う。

1・2部は、1番がスタートラインを基準にスプリンターレーンへ、以下7番までがインコース、8番以降はアウトコースでそれぞれ斜め進行方向に向い各チームのホルダーによって整列支持される。

3・4部は、21番がスタートラインを基準にスプリンターレーンへ、以下28番までがインコース、29番以降はアウトコースでそれぞれ斜め進行方向に向い各チームのホルダーによって整列支持される。

5・6部は、41番がスタートラインを基準にスプリンターレーンへ、以下46番までがインコース、47番以降はアウトコースでそれぞれ斜め進行方向に向い各チームのホルダーによって整列支持される。



ホイッスルによる暫定スタートの後、指示が有る迄ホルダーは動いてはならない。

1周回を終えた時点で隊列が整ったと判断されれば、ピストルの合図で正式スタートとなる。

5周毎の中間スプリントで1着5点、2着3点、3着2点、4着1点が与えられ、最終のゴールスプリントのみ倍の1着10点、2着6点、3着4点、4着2点がそれぞれ与えられる。

○ 男子チーム・スプリント

ホーム・バックからの2組同時スタートで行う。スタートリストのHB表記はそれぞれスタート位置を示す。

計測はカウントダウンタイマーを用いた電気計時を使用し、第1走者のみ発走台で支持される。第2、3走者のホルダーは競技役員が行う。

発走は自転車スタートマシンにセットされた状態から、50秒のカウントダウンで行う。

フライング等、再スタートが認められる場合は、速やかに発走台に戻れる場合を除き、最終組に繰下げて行う。

先走者の前輪前端が交代ライン(センター・ライン)越える以前に後続者がそれを追い抜いてはならない。また、前走者は交代ライン(センター・ライン)15m以内にスプリンターレーンから離脱を完了していなければならない。

○ 賞典

各種目、種別毎、1～3位に表彰式を行う。晴天時はバックストレッチ敢闘門前、荒天時は敢闘門内にて行う。4位以下の入賞者には賞状の授与のみとする。